

3Rと一人ひとりができること

ごみを減らし、分別のルールを守って資源を有効に活用して、資源循環型の社会を目指します。3Rは、ごみ減量、資源循環のキーワードです。たとえば、つぎのような取り組みができます。ライフスタイルに合わせてできることから取り組んでみましょう。



Reduce

(リデュース)
ごみを出さない



リデュースは、3Rのなかで、一番基本的な取り組みです。はじめからごみを出さないように心がけることが大切です。ふだんの生活のなかで、ちょっとした工夫をすることで、ごみを減らすことができます。

一人ひとりができること

- 不要なものは買わない、もらわない。
- 買物をするときは、使いきれぬ量、食べきれぬ量を買う。
- ものは大切に長く使う。
- 買った食材は、エコクッキングでむだなく調理する。
- 食べ残しをしない。
- マイバッグ、マイボトルを使用する。



Reuse

(リユース)
繰り返し使う

一人ひとりができること

- 不要となったおもちゃ、衣類、家具、電気製品などは、必要とする人にゆずる。
- 繰り返し容器を使える詰め替え商品を選ぶ。
- 使い捨てでなく、長く使える商品を選ぼう。
- フリーマーケットやリサイクルショップを利用する。



リユースは、一度使ったものをすぐに捨てないで、繰り返し使う取り組みです。

Recycle

(リサイクル)
再び資源として利用する



リサイクルは、使い終わったものを資源に戻し、再び製品や商品を作って使うことです。分別ルールを守り資源物を再利用できるようにすることで、循環型の社会につながります。

一人ひとりができること

- 家庭から発生する資源物やごみの流れを知り、正しく分別をします。
 - ものをかうときは、リサイクル製品を選びます。
- *リサイクルは、車で資源を運搬したり、工場加工などを行うためエネルギーや費用を必要とします。リデュースとリユースに取り組み、ごみを出さずにモノを大切にすることから取り組みましょう。